



2021年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <https://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹

TEL 0986- 38- 0847

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	18,104	15.3	1,620	62.4	1,779	59.8	1,227	60.9
2020年6月期第2四半期	15,698	0.1	998	2.1	1,113	1.6	763	0.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	86.58	
2020年6月期第2四半期	53.40	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	20,097	14,871	74.0
2020年6月期	19,053	14,036	73.7

(参考)自己資本 2021年6月期第2四半期 14,871百万円 2020年6月期 14,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		28.00	28.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,160	9.6	2,485	14.0	2,777	15.3	1,890	15.0	133.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期2Q	14,509,800 株	2020年6月期	14,509,800 株
期末自己株式数	2021年6月期2Q	301,753 株	2020年6月期	320,553 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期2Q	14,181,489 株	2020年6月期2Q	14,292,147 株

(注) E S O P信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第2四半期累計期間204,900株、第2四半期累計期間315,557株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大で経済活動が大きく制限を受け、企業収益や景況感が悪化し、個人消費も落ち込むなど極めて厳しい状況で推移いたしました。感染拡大の収束時期は未だ見通せず、先行きも不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社はお客様と従業員の安全を最優先に考えた店舗運営に取り組みながら、これまで同様「お客様の声」をもとにした品揃えの拡充と売場改装を積極的に推進するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を継続的に実践しております。

当第2四半期累計期間は、コロナ禍における巣ごもり需要を背景にガーデニングやDIY用品の売上が大きく伸びたことに加え、感染症予防の関連用品や大型台風の接近に備えた対策用品の需要が高まった影響もあり、全店ベースの来店客数は前年同期比108.0%、客単価は同106.8%となり、売上高は同115.3%の181億4百万円となりました。

利益につきましては、特売セール抑制で売上総利益率が前年同期比0.6ポイント伸長の31.5%となり、売上総利益は前年同期比117.6%の56億98百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は広告宣伝費が減少した一方で人件費が増加したこと等により前年同期比105.9%の40億77百万円となりましたが、増収及び売上総利益率の向上がこれを吸収し、営業利益は同162.4%の16億20百万円、経常利益は同159.8%の17億79百万円、四半期純利益は同160.9%の12億27百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第2四半期累計期間においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店(既存店)の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)		増減額	前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	8,534	54.4%	10,117	55.9%	1,582	118.5%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	5,032	32.0%	5,730	31.6%	697	113.9%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	2,131	13.6%	2,257	12.5%	125	105.9%
合計	15,698	100.0%	18,104	100.0%	2,406	115.3%

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ10億44百万円増加の200億97百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億73百万円、商品が5億84百万円、土地が1億69百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ2億9百万円増加の52億25百万円となりました。これは主に長短借入金が2億67百万円、その他流動負債が1億54百万円減少した一方、買掛金が5億56百万円、未払法人税等が84百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ8億35百万円増加の148億71百万円となりました。これは主に剰余金の配当が4億5百万円あった一方、四半期純利益を12億27百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ3億73百万円増加の34億1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、12億97百万円(前年同期は7億38百万円の獲得)となりました。これは主にたな卸資産の増加額が5億90百万円、法人税等の支払額が4億3百万円となったのに対し、税引前四半期純利益が17億79百万円、仕入債務の増加額が5億56百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億79百万円(前年同期は66百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が308百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億43百万円(前年同期は6億60百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払額が4億5百万円、長期借入金の返済による支出が2億67百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月11日公表の予想数値を修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、大阪府松原市への新規出店につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により関係者との協議が一時中断するなど全体のスケジュールに影響が出ており、2022年6月期に予定しておりましたオープン時期が2023年6月期にずれ込む見通しであります。詳細につきましては本日公表の「大阪松原店の開店スケジュール変更についてのお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,027	3,401
売掛金	449	528
商品	5,543	6,128
貯蔵品	31	37
その他	240	234
流動資産合計	9,293	10,330
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,914	4,800
土地	1,922	2,091
その他(純額)	887	922
有形固定資産合計	7,724	7,815
無形固定資産		
投資その他の資産	217	222
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	778	773
その他	1,039	956
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,817	1,729
固定資産合計	9,760	9,767
資産合計	19,053	20,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,204	2,761
短期借入金	439	251
未払法人税等	444	529
その他	981	826
流動負債合計	4,070	4,370
固定負債		
長期借入金	400	320
資産除去債務	309	312
その他	236	223
固定負債合計	945	855
負債合計	5,016	5,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	12,305	13,127
自己株式	△404	△388
株主資本合計	14,045	14,882
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	△10
評価・換算差額等合計	△8	△10
純資産合計	14,036	14,871
負債純資産合計	19,053	20,097

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	15,698	18,104
売上原価	10,852	12,406
売上総利益	4,846	5,698
販売費及び一般管理費	3,848	4,077
営業利益	998	1,620
営業外収益		
受取手数料	78	79
投資不動産賃貸料	55	57
雇用調整助成金	—	44
その他	5	5
営業外収益合計	138	187
営業外費用		
支払利息	2	0
投資不動産賃貸費用	19	22
その他	0	5
営業外費用合計	23	28
経常利益	1,113	1,779
税引前四半期純利益	1,113	1,779
法人税、住民税及び事業税	274	481
法人税等調整額	75	69
法人税等合計	350	551
四半期純利益	763	1,227

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,113	1,779
減価償却費	236	226
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	2	0
投資不動産賃貸料	△55	△57
投資不動産賃貸費用	19	22
雇用調整助成金	—	△44
売上債権の増減額(△は増加)	△87	△78
たな卸資産の増減額(△は増加)	△359	△590
仕入債務の増減額(△は減少)	630	556
その他	△252	△157
小計	1,248	1,655
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△2	△0
雇用調整助成金の受取額	—	44
法人税等の支払額	△509	△403
営業活動によるキャッシュ・フロー	738	1,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△96	△308
投資不動産の賃貸による支出	△13	△16
投資不動産の賃貸による収入	55	57
貸付金の回収による収入	4	4
その他	△16	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66	△279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△292	△267
自己株式の取得による支出	△82	△66
自己株式の売却による収入	90	111
リース債務の返済による支出	△14	△14
配当金の支払額	△362	△405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△660	△643
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11	373
現金及び現金同等物の期首残高	1,690	3,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,701	3,401

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。